

臨床研究へのご協力をお願い(院内調査)

「がん悪液質患者に対するエドルミズの有効性と安全性の検討」

がん治療中に食欲が落ちたり、体重が減ったりすることを経験された患者さんはたくさんおられると思います。がん患者さんの体重が減る原因はいくつもあります。その中にがん悪液質という病態があります。これは通常の栄養サポートを行ってもなかなか止めることができず体を支えていく筋肉も減ってしまう厄介な病態で、日常生活に支障をきたしたり生命予後を悪くしたりします。こういった病態でありながら今まであまり有効な薬がありませんでした。この度一部の肺がん、胃がん、大腸がん、膵臓がんの患者さんを対象としたグレリン用作用を有する悪液質の薬（エドルミズ）を処方することができるようになりました。しかしまだ使い始めてまもない薬であり、実際の日常診療においてどの程度の実効性があるのか、安全に使えるのかを検証する必要があります。

本研究では、当院においてグレリン用作用を有する薬剤（エドルミズ）の投与を受けられた下記の方を対象に調査をおこないます。

当院において悪液質の治療を目的としてエドルミズの投与を受けられた非小細胞肺がん、胃がん、大腸がん、膵臓がんの方

調査項目は、年齢、性別、病名、治療法（どういう薬をつかったか、一緒に使った抗がん剤の種類）体重、食欲に関わる確認用紙の結果、食事量、筋肉量、出現した副作用、予後等です。

本研究は日常診療で得られた臨床データを集計する研究であり、これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は個人情報を持ち離して、個人が特定されない形で、厳重に扱います。

本研究は九州がんセンター倫理委員会の承認を得ています。

皆さんの貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。

本研究に関する研究計画書および研究の方法に関する資料を入手又は閲覧されたい場合、もしくはご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方は、下記の連絡先までご連絡ください。

連絡先 国立病院機構九州がんセンター 消化器・肝胆膵内科
部長 杉本理恵
電話；092-541-3231(代表)